



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年11月7日

上場会社名 株式会社リード 上場取引所 東・福
 コード番号 6982 URL <https://www.lead.co.jp>
 代表者（役職名）取締役社長（氏名）岩崎 元治
 問合せ先責任者（役職名）取締役総務部長（氏名）田口 英美 TEL 048-588-1121
 半期報告書提出予定日 2025年11月13日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	1,783	△12.2	△218	—	△189	—	△203	—
2025年3月期中間期	2,031	△17.9	△77	—	△40	—	△80	—

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	△78.85	—
2025年3月期中間期	△31.17	—

（2）財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
2026年3月期中間期	8,603	—	2,472	—	28.7
2025年3月期	7,882	—	2,600	—	33.0

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 2,472百万円 2025年3月期 2,600百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	—	—	10.00	10.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,000	19.4	△120	—	△80	—	△90	—	△34.75

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

「1株当たり当期純利益」の算定上の基礎となる期中平均株式数については、2025年9月30日現在の発行済株式数（自己株式を除く）を使用しております。

※ 注記事項

- (1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期中間期	2,632,960株	2025年3月期	2,632,960株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	43,244株	2025年3月期	53,919株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年3月期中間期	2,582,929株	2025年3月期中間期	2,588,314株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善の下、緩やかな回復基調が続いたものの、資源価格の高騰、米国の通商政策や為替相場の影響による景気の下振れリスクの高まり等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社の売上高に大きな影響を与える株式会社SUBARUの世界生産台数は、前年同月比4月が7.7%増、同5月が2.3%増、同6月が0.5%増、同7月が4.9%減、同8月が12.5%減、同9月が20.5%減となりました。

このような経済環境の中で当中間会計期間の売上高は、自動車用部品部門において、既存の大口量産車1車種が、フルモデルチェンジにより2025年6月末で生産終了し、当中間会計期間における生産量が、前年同期比減少したことを主因に、1,783百万円(前年同期比12.2%減)となりました。

損益面につきましては、自動車用部品部門の受注が、前述の要因で減少したことに加え、大口受注を踏まえた3,500トンの大型樹脂成形機の導入準備(能力増強投資)や、生産量増加を見据えた、生産ライン確保のための工場レイアウト再編等の先行投資の影響により、営業損失は218百万円(前年同期は営業損失77百万円)となりました。

営業外収益は受取配当金22百万円、受取賃貸料19百万円、スクラップ売却益15百万円等により61百万円、営業外費用は支払利息26百万円等により32百万円を計上し、経常損失は189百万円(前年同期は経常損失40百万円)となりました。また、特別利益は固定資産売却益3百万円、特別損失は固定資産除却損16百万円等を計上し、その結果、中間純損失は203百万円(前年同期は中間純損失80百万円)となりました。

セグメント別の業績については、次のとおりであります。

なお、当中間会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、前中間会計期間との比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

①自動車用部品

当セグメントの売上高は、既存の大口量産車1車種が、フルモデルチェンジにより2025年6月末で生産終了し、当中間会計期間における生産量が、前年同期比減少したことから、1,643百万円(前年同期比12.9%減)となりました。

損益面につきましては、前述の要因で受注が減少したことや、2件の大口受注を踏まえた生産ライン確保のための工場レイアウト再編等の先行投資の影響もあり、セグメント損失(経常損失)は、218百万円(前年同期はセグメント損失(経常損失)38百万円)となりました。

②自社製品

当セグメントの売上高は、駐輪事業における駅前施設等の受注増から、112百万円(前年同期比19.1%増)となりました。

損益面につきましては、セグメント損失(経常損失)は4百万円(前年同期はセグメント損失(経常損失)11百万円)となり、前年同期と比べて赤字幅は縮小いたしました。

③賃貸不動産

賃貸不動産のセグメント利益(経常利益)は、14百万円(前年同期比1.0%増)となりました。なお、収益及び費用は営業外に計上しています。

④その他

電子機器事業においては、2025年6月末で撤退をしたため、売上高は28百万円(前年同期比42.5%減)となりました。

損益面につきましては、セグメント利益(経常利益)19百万円(前年同期はセグメント損失(経常損失)4百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当中間会計期間末における総資産は、前期末比720百万円増加し8,603百万円となりました。

・資産

流動資産は、仕掛品が19百万円、原材料及び貯蔵品が10百万円、その他のうち未収消費税等が84百万円増加し、現金及び預金が56百万円、受取手形及び売掛金が49百万円、電子記録債権が75百万円、その他のうち有償支給に係る資産が16百万円減少したこと等から75百万円減少し2,493百万円となりました。

固定資産は、機械及び装置が29百万円、工具、器具及び備品が278百万円、リース資産が516百万円増加し、建物が32百万円、建設仮勘定が132百万円減少したこと等から有形固定資産は656百万円増加し4,913百万円となり、また、投資有価証券が142百万円増加したこと等から投資その他の資産は140百万円増加し1,194百万円となりました。その結果、固定資産全体では796百万円増加し6,110百万円となりました。

・負債

流動負債は、支払手形及び買掛金が49百万円、未払金が28百万円、その他のうちリース債務が58百万円及び設備関係支払手形が15百万円増加し、短期借入金が50百万円、賞与引当金が10百万円減少したこと等から98百万円増加し2,615百万円となりました。

固定負債は、長期借入金が188百万円、その他のうちリース債務が517百万円及び繰延税金負債が43百万円増加したこと等から749百万円増加し3,515百万円となりました。その結果、負債全体では848百万円増加し6,131百万円となりました。

・純資産

純資産は、配当金の支払が25百万円、中間純損失が203百万円となり利益剰余金が229百万円減少し、また、その他有価証券評価差額金が95百万円増加したこと等から127百万円減少し2,472百万円となりました。これにより自己資本比率は28.7%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績予想につきましては、前回公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表した「2026年3月期第2四半期(中間期)業績予想と実績との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当中間会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,435,501	1,379,301
受取手形及び売掛金	559,964	510,869
電子記録債権	225,754	150,450
製品	38,646	34,487
仕掛品	22,766	42,280
原材料及び貯蔵品	181,936	192,376
その他	104,881	183,965
貸倒引当金	△60	—
流動資産合計	2,569,390	2,493,731
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,231,596	1,199,008
構築物(純額)	29,841	28,616
機械及び装置(純額)	430,074	459,614
車両運搬具(純額)	6,809	4,630
工具、器具及び備品(純額)	437,525	715,787
土地	1,657,869	1,657,869
リース資産(純額)	209,776	726,261
建設仮勘定	253,605	121,436
有形固定資産合計	4,257,098	4,913,226
無形固定資産		
ソフトウェア	2,761	2,424
無形固定資産合計	2,761	2,424
投資その他の資産		
投資有価証券	936,557	1,079,353
その他	119,841	115,136
貸倒引当金	△2,740	—
投資その他の資産合計	1,053,658	1,194,490
固定資産合計	5,313,518	6,110,141
資産合計	7,882,908	8,603,872

(単位:千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当中間会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	292,161	341,900
短期借入金	1,625,382	1,574,693
未払金	400,707	429,676
未払法人税等	6,196	3,658
賞与引当金	30,000	20,000
その他	162,235	245,560
流動負債合計	2,516,683	2,615,489
固定負債		
長期借入金	1,825,651	2,014,643
退職給付引当金	95,119	95,172
資産除去債務	50,905	50,914
その他	794,518	1,354,974
固定負債合計	2,766,194	3,515,704
負債合計	5,282,878	6,131,194
純資産の部		
株主資本		
資本金	658,240	658,240
資本剰余金	216,248	216,486
利益剰余金	422,229	192,775
自己株式	△29,992	△23,998
株主資本合計	1,266,725	1,043,503
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	372,328	468,198
土地再評価差額金	960,976	960,976
評価・換算差額等合計	1,333,304	1,429,174
純資産合計	2,600,030	2,472,678
負債純資産合計	7,882,908	8,603,872

(2) 中間損益計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	2,031,283	1,783,980
売上原価	1,812,055	1,730,128
売上総利益	219,227	53,852
販売費及び一般管理費	296,993	272,765
営業損失(△)	△77,765	△218,913
営業外収益		
受取利息	183	801
受取配当金	18,985	22,520
受取賃貸料	19,980	19,989
受取補償金	11,684	—
助成金収入	—	800
スクラップ売却益	14,554	15,932
その他	1,145	1,345
営業外収益合計	66,534	61,390
営業外費用		
支払利息	19,423	26,805
賃貸費用	5,577	5,561
その他	4,060	100
営業外費用合計	29,061	32,467
経常損失(△)	△40,292	△189,990
特別利益		
固定資産売却益	—	3,504
受取保険金	3,106	—
特別利益合計	3,106	3,504
特別損失		
固定資産売却損	—	695
固定資産除却損	9,937	16,075
事業撤退損	33,139	—
投資有価証券売却損	—	4
特別損失合計	43,076	16,775
税引前中間純損失(△)	△80,262	△203,261
法人税、住民税及び事業税	380	410
法人税等調整額	24	△8
法人税等合計	404	401
中間純損失(△)	△80,667	△203,663

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純損失(△)	△80,262	△203,261
減価償却費	163,646	197,835
株式報酬費用	4,275	3,449
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,800	△2,800
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△41	52
賞与引当金の増減額(△は減少)	△30,000	△10,000
受取利息及び受取配当金	△19,168	△23,322
支払利息	19,423	26,805
助成金収入	-	△800
スクラップ売却損益(△は益)	△14,554	△15,932
投資有価証券売却損益(△は益)	-	4
受取保険金	△3,106	-
有形固定資産除売却損益(△は益)	9,937	13,266
事業撤退損	757	-
売上債権の増減額(△は増加)	287,604	127,892
棚卸資産の増減額(△は増加)	30,071	△25,795
仕入債務の増減額(△は減少)	△125,679	21,267
預り金の増減額(△は減少)	△104,213	△185
未収消費税等の増減額(△は増加)	-	△84,277
未払消費税等の増減額(△は減少)	10,646	-
その他	△76,574	61,976
小計	70,962	86,175
利息及び配当金の受取額	19,152	23,186
利息の支払額	△21,407	△26,195
助成金の受取額	-	800
スクラップ売却による収入	14,004	15,932
保険金の受取額	3,106	-
法人税等の支払額	△541	△820
法人税等の還付額	11,413	5,886
営業活動によるキャッシュ・フロー	96,690	104,965
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△4,203	△3,071
投資有価証券の売却による収入	-	23
有形固定資産の取得による支出	△350,583	△219,777
有形固定資産の売却による収入	-	6,025
資産除去債務の履行による支出	△23	-
貸付けによる支出	△2,000	△500
貸付金の回収による収入	1,881	2,784
保険積立金の積立による支出	△4,959	△4,959
差入保証金の回収による収入	10	-
差入保証金の差入による支出	-	△508
投資活動によるキャッシュ・フロー	△359,877	△219,983

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	-	△200,000
長期借入れによる収入	420,264	790,133
長期借入金の返済による支出	△489,103	△451,830
リース債務の返済による支出	△39,488	△53,945
配当金の支払額	△25,821	△25,539
財務活動によるキャッシュ・フロー	△134,148	58,818
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△397,335	△56,199
現金及び現金同等物の期首残高	1,585,016	1,385,501
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,187,681	1,329,301

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)3	合計
	自動車用部品	自社製品	賃貸不動産	計		
売上高						
一時点で移転される財	1,817,276	82,906	—	1,900,183	48,931	1,949,114
一定の期間にわたり移転される財	70,972	11,196	—	82,168	—	82,168
顧客との契約から生じる収益	1,888,249	94,102	—	1,982,351	48,931	2,031,283
セグメント利益又は損失(△)	△38,277	△11,272	14,138	△35,410	△4,881	△40,292

- (注) 1. 「賃貸不動産」については、収益及び費用とも営業外で処理しております。
2. 「セグメント利益又は損失(△)」の合計額は、中間損益計算書の経常損失と一致しております。
3. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電子機器事業であります。

II 当中間会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)3	合計
	自動車用部品	自社製品	賃貸不動産	計		
売上高						
一時点で移転される財	1,554,464	94,679	—	1,649,144	28,111	1,677,256
一定の期間にわたり移転される財	89,321	17,402	—	106,724	—	106,724
顧客との契約から生じる収益	1,643,786	112,082	—	1,755,869	28,111	1,783,980
セグメント利益又は損失(△)	△218,481	△4,939	14,285	△209,134	19,144	△189,990

- (注) 1. 「賃貸不動産」については、収益及び費用とも営業外で処理しております。
2. 「セグメント利益又は損失(△)」の合計額は、中間損益計算書の経常損失と一致しております。
3. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電子機器事業であります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当中間会計期間より、電子機器事業について、従来「自社製品」に含めていましたが、事業撤退したため、「その他」として記載する方法に変更しております。

なお、前中間会計期間のセグメント情報は、当中間会計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。